



松原小学校 3年生  
水辺の楽校生き物調べ隊



自然との触れ合いが子どもたちを大きく育てる

3月8日、松原小学校のお招きを受け「水辺の楽校生き物調べ隊」報告会に参加しました。

「虫がイヤだったが楽しくなってきた」「バッタの捕まえ方がよくわかった」「ロゼット遊びが楽しかった」など、生の声を聞くことができました。今年度の活動回数は6回、露木さんと臼井が交流しました。

●富田早紀先生に伺いました

総合的な学習の柱として取り組みました。水辺の楽校は歩いて行ける近さですが、子どもたちが住む学区は住宅やお店が多く、自然と触れ合える経験が少ない場所です。地域の「財」を生かした活動を通して、子どもたちが探究活動の楽しさを存分に味わうことができたらいいなと考えました。昆虫のすんでいる場所を知り、捕まえる方法を考え、じっくり観察する。一つ一つが大きな発見となり、もっと知りたい、もっと調べてみたいと探究心が深まり自然の魅力や地域の良さを知ることにつながります。心身共に大きく成長できた活動になったと思います。今後も3年生の教科学習を横断的に考えた活動を続けていけたらと思っています。地域の方とのつながりをより一層深めていければと思っています。



子どもたちとの交流は楽しい。カエル池の生き物観察(上)。ナンキンハゼがなぜここにあるかを説明(中)左の写真はロゼットごっこ。冬越しの植物の姿でゴロンチョすると暖かいのだ!



3/8 生き物調べ隊報告会



3年1組と2組の生徒の皆さんが活動の成果や感想を発表。タブレットを使ったビジュアルな内容に、もう、びっくり！ネット情報も取り入れた立派な発表ばかりでありました！これからも遊びに来てねとエールを送りました。

3/15 感謝の集い・思い出ピクニック



進行役の皆さんが私たちに感謝の礼を述べると共に感想などを発表されました。驚いたのは画文集を頂戴したこと。ウスさん感激！素晴らしい日となりました。水辺の楽校に遊び声が溢れるピクニックとなりました。